

取扱説明書

TURBO TIMER

Ultra Compact Design

この度はPIVOT TURBO TIMERをお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

お取り付けの前に！



注意

- 車輻側への製品固定や、そのための穴開け等の加工は、必ず正常な動作を確認後に行ってください。
- 本製品は純正プッシュボタン装着車には取付できません。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- タイマー作動中はハンドルがロックされ、そのままの走行は大変危険です。パワースイッチを一度切ってからご使用ください。
- 予期せぬ事故防止のため、他人がクルマを使用する時はパワースイッチを切ってください。
- 特に小さなお子様を車内に残している時は使用しないでください。
- 換気の悪い場所での作業や使用は排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- ショートなどによる火災、破損事故を防ぐため、必ずバッテリーのマイナス側を外して作業を行ってください。
- シートレール、ドア等の鋭利な鉄板でコードの被ふくが傷付くと、ショート、接触不良などで火災、破損の危険があります。
- 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると操作が行えず大変危険ですので、安全な場所へ確実な固定をしてください。
- 使用中に各配線が絡まると運転操作に支障を来し、無理に引っ張るとショートなどの原因となり、大変危険ですので、配線はテープなどで確実に収納してください。
- 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮したご使用を行ってください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 製品装着には専門知識を必要としますので、不安な方は専門ショップにご依頼ください。
- 本製品はDC12V 車用でそれ以外の電圧には装着できません。
- 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出していないかをお確かめください。
- 製品の加工、分解、改造は絶対に行わないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所への装着は絶対に行わないでください。
- 表示が眩しく感じる場合は、眩しくない場所へ装着してください。
- 両面テープによる製品固定は高温時などの初期ははげやすくなっていますので強い力を与えないでください。
- 装着時に外したネジ、部品は確実に元の状態に戻してください。
- ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。

内容物をご確認ください



本体



両面テープ



カットギボシ×1



取扱説明書



製品保証書

Ultra Compact Design!

低価格でシンプル機能、簡単取付のターボタイマー

1. オートモード

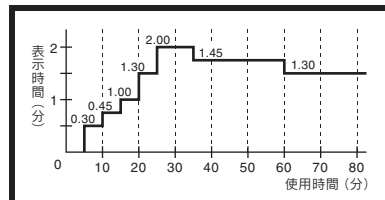
走行時間に応じアイドリング時間を自動設定します。(グラフ参照)

2. マニュアルモード

アイドリング時間を0秒～9分50秒まで、10秒単位で設定できます。

3. 暖機モード

暖機時間を10分～19分50秒まで、10秒単位で設定できます。

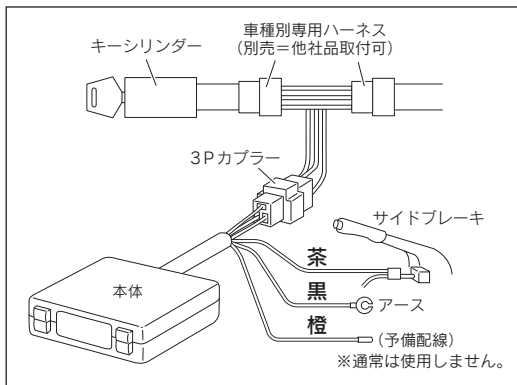


基本配線方法



注意

- サイドブレーキ配線は安全のため行ってください。
- 本体固定は各動作確認後に行ってください。
- 安全のため、作業中はバッテリーの⊖端子を外してください。
- 検電時はバッテリー⊖端子に戻してください。
- 凍結防止等で、サイドブレーキへの配線を行わない時は、茶コードをアースへ接続してください。



接続方法

※接続には車種別専用ハーネスをご使用ください。(他社品可)

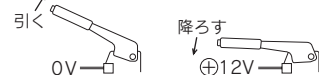
キーシリンダーに取り付いているハーネスを抜き、中間に別購入した車種別専用ハーネスを入れて接続します。TTX本体から出ている3Pケーブルと、専用ハーネスから出ている3Pケーブルを接続します。黒コードをボディのアースのとれるネジへ共締めします。茶コードをサイドブレーキスイッチの配線へ、付属のカットギボシ(または半田付け)にて確実に接続します。

TTXからの各配線説明

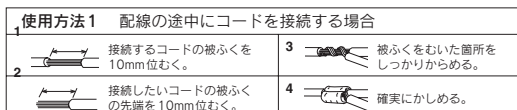
- 赤=常時(キーOFF) ⊕12V
- 黄=IG1(キーON) ⊕12V
- 青=ACCまたはIG2 ⊕12V
- 黒=ボディアース
- 茶=サイドブレーキスイッチ
- 橙=(予備配線)

サイドブレーキスイッチ接続場所の確認

キースイッチON(エンジンは作動させない)の位置で引くと0V、降ろすと⊕12Vの配線です。



【参考】カットギボシの使い方

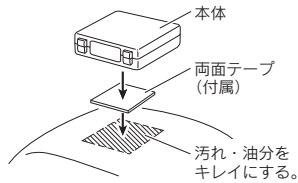


※かしめには圧着工具を使用し、工具がない場合はペンチ等で折じたたむようにしっかりとかしめて半田付けしてください。
※不確実なかしめは断線の原因になりますので、かしめた状態をお確かめのうえ、ビニールテープ等で確実に絶縁をしてください。

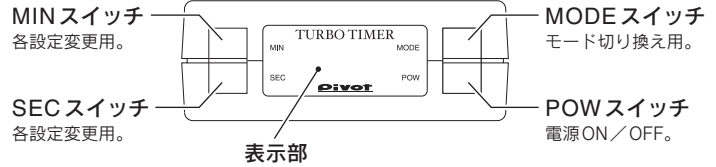
製品の固定

本体と本体を取り付けたい場所の汚れや油分等をキレイにします。付属の両面テープにて確実に取り付けます。

⚠️ 貼り直しは粘着力が低下するのでできるだけ行わないでください。



各部の名称

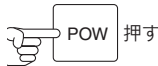


基本操作方法

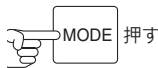
1 ▶ キースイッチON (エンジンは始動しない)



2 ▶ POWスイッチ押し 電源をONにする



3 ▶ MODEスイッチ押し ごとに切り換わり

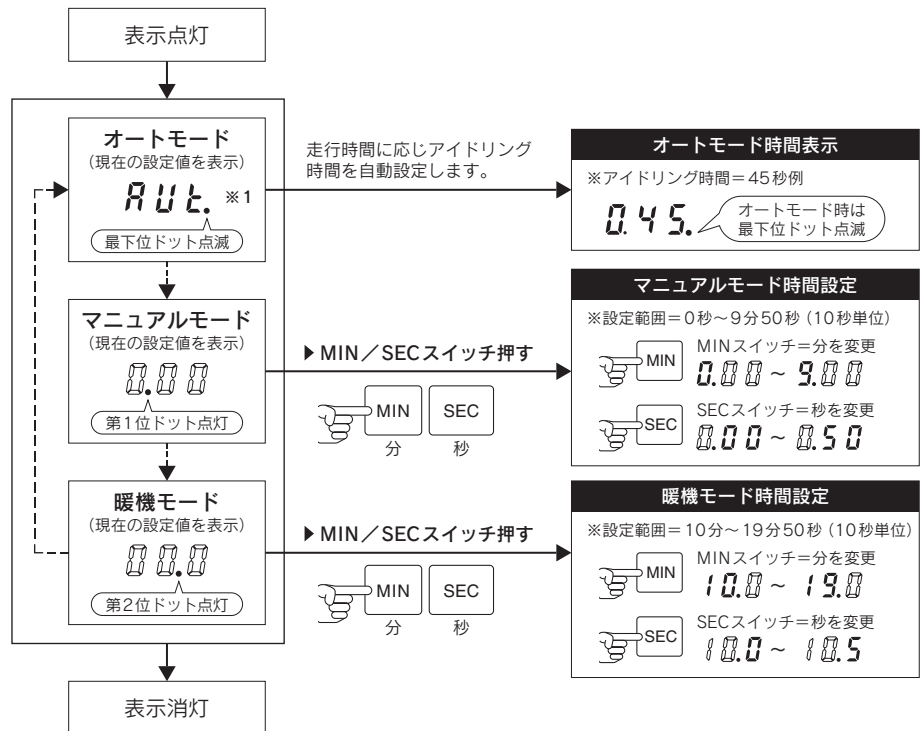
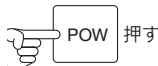


⚠️ 注意

※1 オートモード設定の場合、アイドリング時間が0秒のときは **AUT.** (最下位ドット点滅) 表示になります。

- オートモード設定の場合、各表示中最下位ドットが点滅、マニュアル・暖機モード設定の場合は消灯します。
- タイマー作動中サイドブレーキを下ろすと - P - が表示され停止します。
- タイマー作動中POWスイッチを押すと表示は消灯しエンジンは停止します。

4 ▶ POWスイッチ押すと電源OFF



故障と思われるまえに

(車種特有の問題と対策)

下記装置はターボタイマー作動中に正常に作動しなくなる場合がありますので、予めご了承ください。その際はターボタイマー終了後に操作してください。

1. キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステム。 2. セキュリティシステム (セキュリティアラームなど) 装備車。

車種	症状	原因	対策
軽自動車の一部	タイマー作動中エンジンが止まってしまふ。	専用ハーネス側の極性の間違い。 注1. 一部専用ハーネスでIG1 (黄)、IG2 (青)の位置が逆の場合、対策作業としてターボタイマーからの3Pカプラーの黄と青コードの位置を入れ替えてください。 注2. ただし、この改造は他車では作動不良となりますので、その場合は必ず現状に戻してください。	ターボタイマー側の3Pカプラーの黄・青コードを入れ替える。 回転力を大きくするためエンジン回転を多少 (1200~1500rpm) 上げた状態でキースイッチを切りタイマーを作動させる。

症状	原因	対策
キーONでPOWスイッチを押しても表示がでない。	黒コードの接続不良または接触不良。	黒コードの接続状態を確認する。
タイマーは作動するが、エンジンは止まってしまふ。	間違った車種別専用ハーネスを使用している。	車種別専用ハーネスが間違っていないか確認する。
表示が - P - となり、タイマー作動しない。	サイドブレーキが確実に引かれていない。 茶コードの接続不良または接触不良。	サイドブレーキを確実に引く。 茶コードの接続状態を確認する。

オートライトコントロール装着車について

オートライトコントロール装着車で使用する場合、オート点灯状態でタイマー作動をするとエンジン停止後もライトが消灯しない場合がありますのでタイマー使用時はオート点灯モードはご使用にならないでください。